

生物多様性ワールドカフェ
 ~ 「(仮称)生物多様性さっぽろ戦略」市民団体等ヒアリング~
 実施結果概要

【日時】平成24年2月26日(日) 9:30~12:30

【場所】札幌コンベンションセンター201会議室
 (札幌市白石区東札幌6条1丁目1-1)

【参加者数】36名 (内訳)・市民団体 10件19名
 ・事業者 8件10名
 ・研究機関 2件 2名
 ・個人 5名

【概要】(説明用資料:別添のとおり)

- 1 さっぽろ戦略策定の背景説明
 - 2 ワールドカフェ
 - (1) 第1ラウンド
「あなたは自然や環境とどのように関わっていますか？」
 - (2) 第2ラウンド
「生物多様性と私たちの暮らしには、どのような関係があるでしょうか？」
 - (3) 第3ラウンド
「私たちが大切にしたい生物多様性とは、どのようなものでしょうか？」
 - (4) 全体セッション(ハーベスト)
「生物多様性を守るため、札幌に暮らす私たちに、今、何が必要でしょうか？」
- <主な意見>

今、必要なこと	具体例
環境教育・普及啓発に関する こと	・知らせる、考える、共有するしくみづくり ・学校教育への組み込み ・生物多様性に関する歌の作成
各主体間のネットワーク構築に関する こと	・環境保全活動に関わる団体、企業等のネットワークづくり ・ネットワークの拠点となる生物多様性の森づくり
自然環境の直接的な保全に 関すること	・生物多様性の森づくり(市有林化) ・街路樹の樹冠の自然に近い状態での形成
経済との折り合いに関する こと	・生物多様性のブランド価値を利用する仕組みの確立 ・自然の価値と経済の価値を統一する単位の導入
モニタリングに関する こと	・市民参加による生物多様性に関する状況のモニタリング(見える化)
行政等への要望的な意見	・生物多様性に関する相談窓口のワンストップ化 ・開発行為に対する規制の強化
目標設定に関する こと	・札幌のまちづくりの目標(基本理念)への生物多様性保全の組み込み ・現状維持(今ある生物多様性をこれ以上破壊しない)を目指した目標設定
その他	・あらゆる生物への配慮

生物多様性ワールドカフェ
意見集約表

グループ	問:生物多様性を守るため、札幌に暮らす私たちに、今、何が必要でしょうか？	意見属性
	教育の必要あり(小学生等)	環境教育・普及啓発
	情報の発信(行政からの)	
	「知る」きっかけとなる情報のカタチ	
	体験型イベント 情報の発信	
	私たちのまわりの生きものの違い(個性)とつながりを良く知ろう!	
	お金で買えないもの、失ってはじめて気づくもの多くのことに気付いていない。市民も行政も常に耳を傾けよう!	
	(マップ)環境との関わり、共有、エゴをさける、暮らし最小限、知識経験を知恵に、教育自然学習、豊平川の木必要性災害魚鳥	
	「生き物が身近な自然の中にたくさんいることは素晴らしい!」と思う人がたくさんになるよう自然体験活動を提供すること、生き物情報を知らせることが大切	
	教育・啓蒙	
	教育	
	小学校でアメリカザリガニを配らない(外来種)(教育委員会)	
	生物多様性の歌を作って歌う	
	知る(教育・対話)エゴ・地域(無知:ざりがに)	
	身近な自然環境を知る 皆の共通認識を作る 子ども、次世代に伝える	
	自然と触れ合う機会	
	学校教育で命の大切さを教える	
	札幌の良さを知る	
	・まずは身近な自然を知る ・自分は何によって生かされているか感じ取る(五感) 皆(子供も大人も)の意識を高める取組み!	
	市民が持っている先入観・固定観念をリセットする!(あって良いもの、悪いものは決めつけられない)	
	・人も生物、生きる力を育む暮らし ・五感が退化しない生活、街づくり ・(例)「ヒグマ」をテーマとした共生のスタディ ・自然の豊かさ、命の重さを「体験する」機会 ・「考える」習慣、「行動する」習慣作り	
	生物多様性 豊かな自然 楽しいことに繋がる(登山、山菜、魚釣り、そのほか) 札幌のこのような場所を見つけ出し、皆で認識する 生物多様性 豊かな自然 快適な生活につながる おいしい水、おいしい空気	
	知らせる、考える、共有するしくみづくり	
	広く知らせる 自然にはわかっていないことがたくさんあること	
	広く知らせる 自分の生活にリンクしていること 探すことも大切 例:熱帯雨林の破壊とアイスクリームの関係	
	広く知らせる 生き物を捨てない	
	広く知らせる 今の1つが将来の100になること	
	多様性の森(拠点づくり)場づくり、集まって交換や活動	ネットワーク
	より多くの企業や市民が関わることがとても大切 そのためには今回出席している人たち団体との協力が必要ですね	
	環境活動をしているグループ、企業、NPO等のネットワークを作り、行政が支援していく	直接的な保全
	市内の多様性の森をつくらう(札幌市有林とする)	
	身近な自然を残す、守る 街路樹の樹冠はなるべく自然の形にしたいね	

グループ	問: 生物多様性を守るため、札幌に暮らす私たちに、今、何が必要でしょうか？	意見属性
	<p>経済的効果だけではとにかえしのつかないことに気付き始めた</p> <p>経済はあるものを利用することからはじめるべきという原則</p> <p>人との利害関係をどう折り合いをつけるのか</p> <p>生物多様性と開発・経済活動のとの折り合う技術(できるだけ低コスト又は市民参加で可能な)を生み出す知恵と努力</p> <p>それからそれ自体が経済的にも有利(ブランドとして高く売れるなど)になるアイデアが必要</p> <p>今までの経済依存型で行ってきた誤ったルールでは生物は生きていけない!</p> <p>自然 単位の統一 経済</p> <p>自然保護 対立させない方法の確立 経済の発展</p> <p>防災を考える”自然との関わり方(環境と経済)”</p> <p>人と自然の折り合い(経済・コスト)</p> <p>皆で考える</p> <p>人と自然の折り合いをどこでどうつけるか</p>	経済との折り合い
	<p>SOSを発している生物の声をまず吸い上げる場が必要!</p> <p>生物多様性の状況をモニタリング(多くの市民が関わって)と見える化</p> <p>札幌市は環境局の中に身近に相談できる場をつくるべき</p>	モニタリング
	<p>この場所に関わる職員は幅広く他局と結びつき縦行政にならないことが重</p> <p>開発するときの規制をもっと厳しくしてよい!</p> <p>特に都市開発する上で考えてほしいです。また市民の意識の向上!</p> <p>持続性(事業・活動の)</p> <p>皆で考える</p> <p>(保全を)続けられる仕組み作り</p>	行政等への要望
	<p>札幌での生物多様性の「あるべき姿」はどんな形になるのか(どんな形が良いのか)目標を明確化すべきでは・・・</p> <p>札幌に暮らす上で生物多様性を守るための持続可能なルールを生み出す!</p> <p>札幌のまちづくりの目標に生物多様性の保全!</p> <p>目標設定!(地域区分・戻す時期)</p> <p>現状維持(今ある生物多様性をこれ以上壊さない)</p> <p>皆で考える</p> <p>生命を見極め全体の役に立つルール作り</p> <p>目標設定が必要</p>	目標設定
	<p>感情論に走ると棲みづらい都市ができるし自然は大切だし</p> <p>下手をすると総論賛成各論反対的な物になるのが・・・</p> <p>あらゆる生物に配慮していくこと!!</p> <p>外来種はケースバイケース</p> <p>自然と人との間</p> <p>楽しい、嬉しい、気持ちいい、子供と遊べる、魚釣りもできる川、沼、湖、多様性のある自然</p> <p>人の関わりの中で考えざるを得ない「生物多様性」</p> <p>豊かな自然は心が豊かな生活に結びつく(のか?)</p> <p>関係ない生き物というのはきつくない</p>	その他

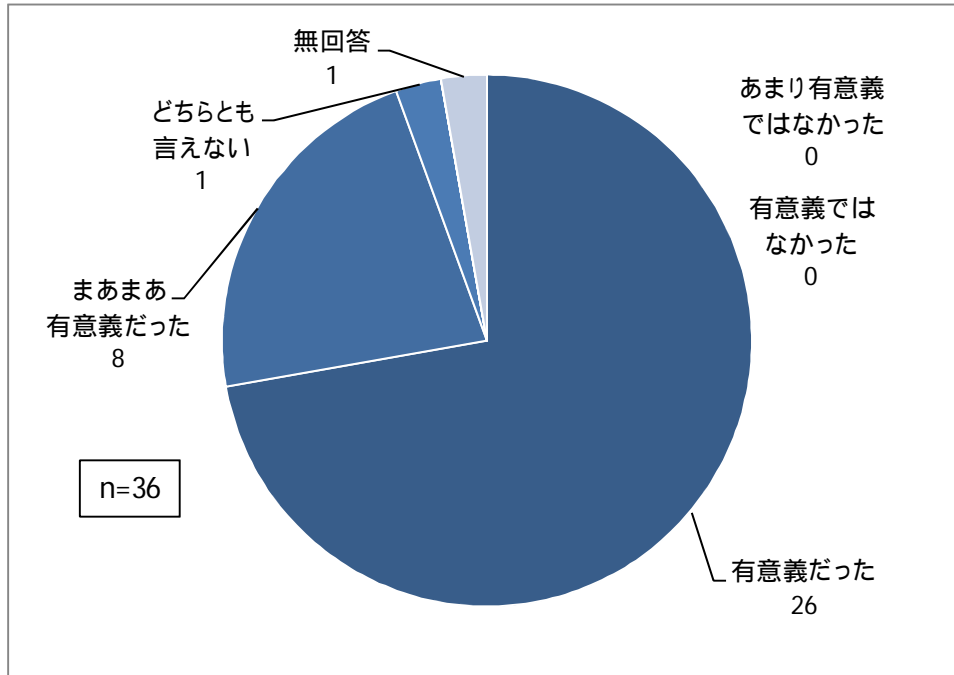
生物多様性ワールドカフェ

～「(仮称)生物多様性さっぽろ戦略」市民団体等ヒアリング～

アンケート結果

日時	平成24年2月26日(日) 9:30～12:30
場所	札幌コンベンションセンター 201会議室 (札幌市白石区東札幌6条1丁目1-1)
参加者数	(内訳) ・市民団体 10件 19名 <u>36名</u> ・事業者 8件 10名 ・研究機関 2件 2名 ・個人 5名
アンケート回答者数(率)	<u>35名</u> (97.2%)

問1. 本日のイベントの内容は有意義でしたか？



「有意義だった」と回答した理由

(ワールドカフェの手法に関するもの)

- ・色々な人(普段話せない人)と話す機会を得ることができたから
- ・多くの人意見を聞き、自分の中で新たな整理ができた
- ・日常生活で話し合う人と違う分野の人たちと話し合えたこと。いろいろな意見を知った
- ・いろいろな情報を得ることができた。同じような考えを持った人が多いことに共感した
- ・多くの人と話ができたこと
- ・様々な考え方を持つ人たちと対話できた
- ・多様な意見を聞くことができた
- ・生物多様性について、人によって様々な意見・考えがあると知る良い機会になった
- ・自分の意識していない生物多様性の考え方がたくさんありました
- ・いろんな人の意見を聞いた
- ・ワールドカフェを体験できた。興味深い話を聞いた
- ・色々な意見が聞いた
- ・外来種に対する考え方が変わった(悪いとは限らない) いろんな考え方に触れられた、環境の変化を受け入れることの大切さを感じた
- ・普段漠然と考えていた生物多様性について、少ししっかりと考える時間となった
- ・参加者それぞれの考え方を聞くことができた(多様性) 意見を話すことで自分の考えがまとまる
- ・様々な立場の方の体験、考えをお聞きできた
- ・参加者がヒトとの関係で冷静に生物多様性を考えている人が多く、議論が深まった
- ・多方面とのつながりでいろいろな話ができ。一般に広めるこういう活動は大切!!

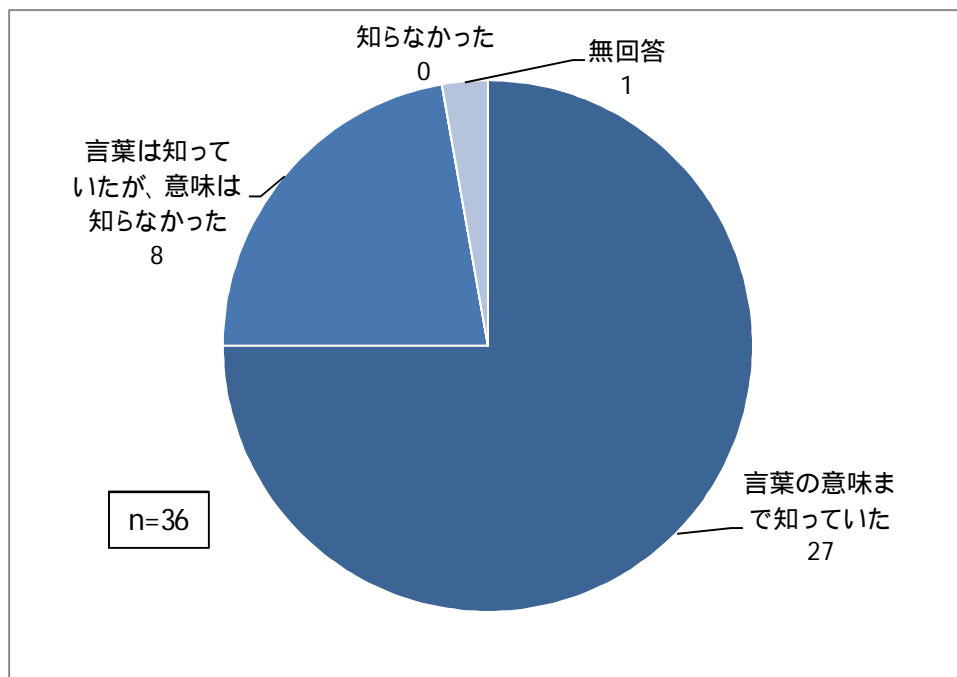
(対話の内容に関するもの)

- ・生物多様性に対する想いの多様性を理解してほしいという意見に感銘を受けた
- ・深かった
- ・まだ固まっていないことがわかったのは逆に有意義だった

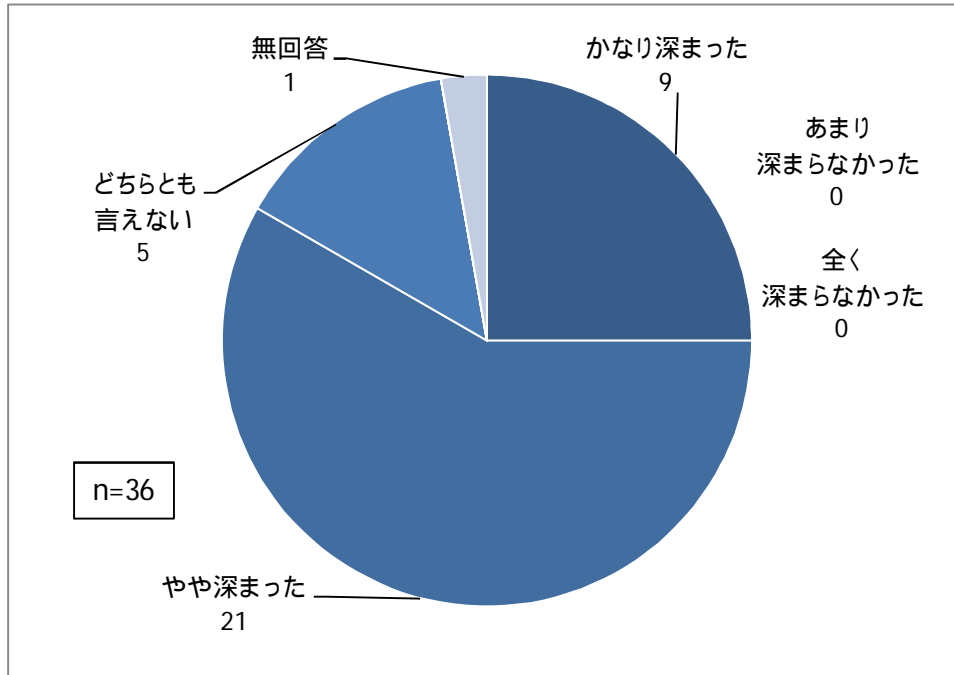
- 「まあまあ有意義だった」と回答した理由
(ワールドカフェの手法に関するもの)
- ・ いろんな考えを知ったこと
 - ・ 行政(市)が乗り出して、市民が集まって話し合いをした
 - ・ 色々な話を聞いてよかった
 - ・ いろいろな意見を聞くことができた。話し合いが活発だった
- (対話の内容に関するもの)
- ・ 内容が漠然としていて切実な感覚がなかった

- 「どちらとも言えない」と回答した理由
(対話の内容に関するもの)
- ・ 消化不良です

問2. 本日のイベントに参加される以前から、「生物多様性」という言葉をご存じでしたか？



問3. 「生物多様性」について、理解は深まりましたか？



「かなり深まった」と回答した理由

- ・ 様々な考えや解釈を持った人がいることがわかった
- ・ 多くの人の意見を聞け、自分の中で新たな整理ができた
- ・ 身近なところにも「生物多様性」を考えることはたくさんあること
- ・ 非常に難しい問題なので長期的な視点で考えなければならないと思う

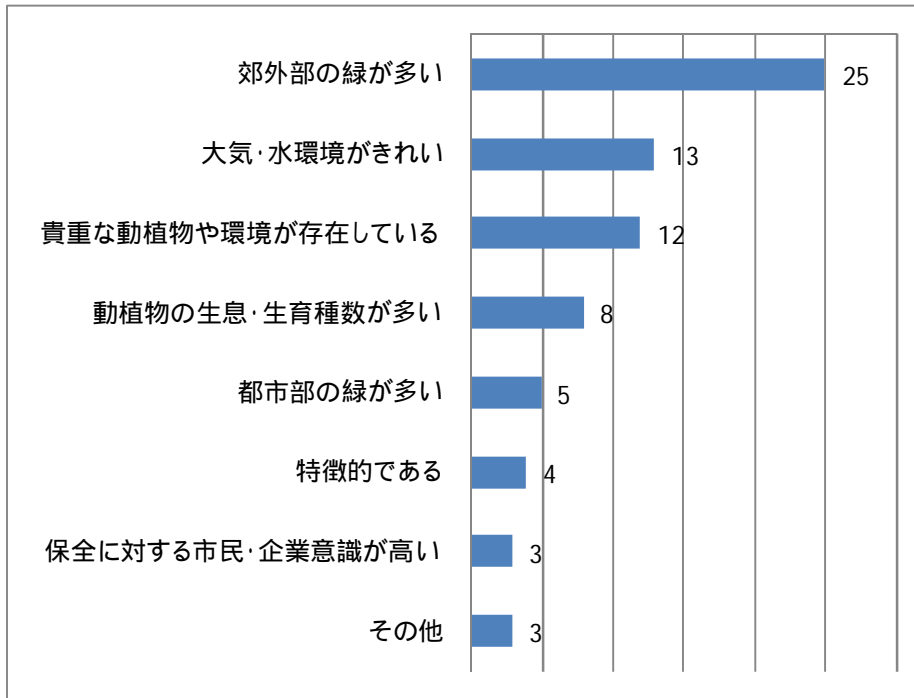
「やや深まった」と回答した理由

- ・ 個人の活動を知ることができた
- ・ 考えれば考えるほど、まさに多様なものであると思った。一言でまとめるのは本当に難しい
- ・ 自分の中のレベルでは変わらないが、多くの人の考えに接して、その点では深まった
- ・ 考えるべきことの幅が広がった（ある意味、自分にとってより複雑になった）
- ・ 参加者の発言、意見が参考になった
- ・ 外来種問題に関心が高いのが意外だった
- ・ 多様な方の「考え」に触れた
- ・ どうしていったら良いか、わからない分野もある
- ・ もっと広く話す場があれば、もっと深まると感じた
- ・ 外来種も多様性の一部かもしれない。でも、増えたらダメ
- ・ 札幌市の問題を知ることができた

「どちらとも言えない」と回答した理由

- ・ 自分の理解はもちろん、意識の共有ができた
- ・ 生物多様性そのものは、従前の知見
- ・ ワールドカフェは結論を出すわけではないので、「理解が深まった」ということはなかった

問4. さっぽろの自然で、他に自慢できるところはどこだと思いますか？(複数回答可)



「貴重な動植物や環境が存在している」の具体例

- ・カラカネイトトンボ (3件)
- ・ヤチウグイ
- ・渡り鳥
- ・篠路福移湿原 (2件)
- ・西岡公園
- ・天然林
- ・ヒグマ (3件)
- ・クマゲラ
- ・藻岩山 (2件)
- ・円山
- ・大都市にサケが自然産卵する環境
- ・サケが上る

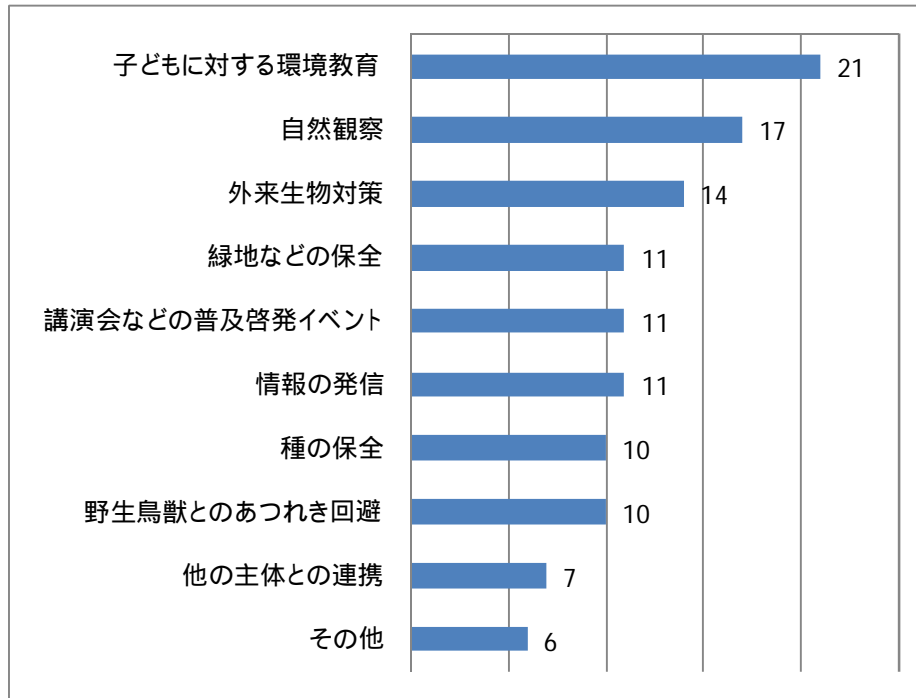
「特徴的である」の具体例

- ・都心にコア緑地が近い
- ・原始林の存在
- ・都心から近くに森がある
- ・自然性が高い

「その他」の具体例

- ・大都市と自然が近いこと
- ・近くに自慢できるほどのものはないが、どこにでもある(道内では) それが大切です
- ・近くにある

問5. 今後、生物多様性保全のために、「皆さんがやってみたいこと」はなんですか？(複数回答可)



「その他」の具体例

- ・放流のガイドライン作り
- ・農業との兼ね合い
- ・ほとんどやっています
- ・ガイド活動を通しての啓発
- ・生物多様性につながる森づくり(森の再生)
- ・モニタリング調査と結果の公表、技術開発

問6. 問5でお答えいただいた「やってみたいこと」のうち、具体的なアイデアがあればご記入ください。

具体的なアイデア

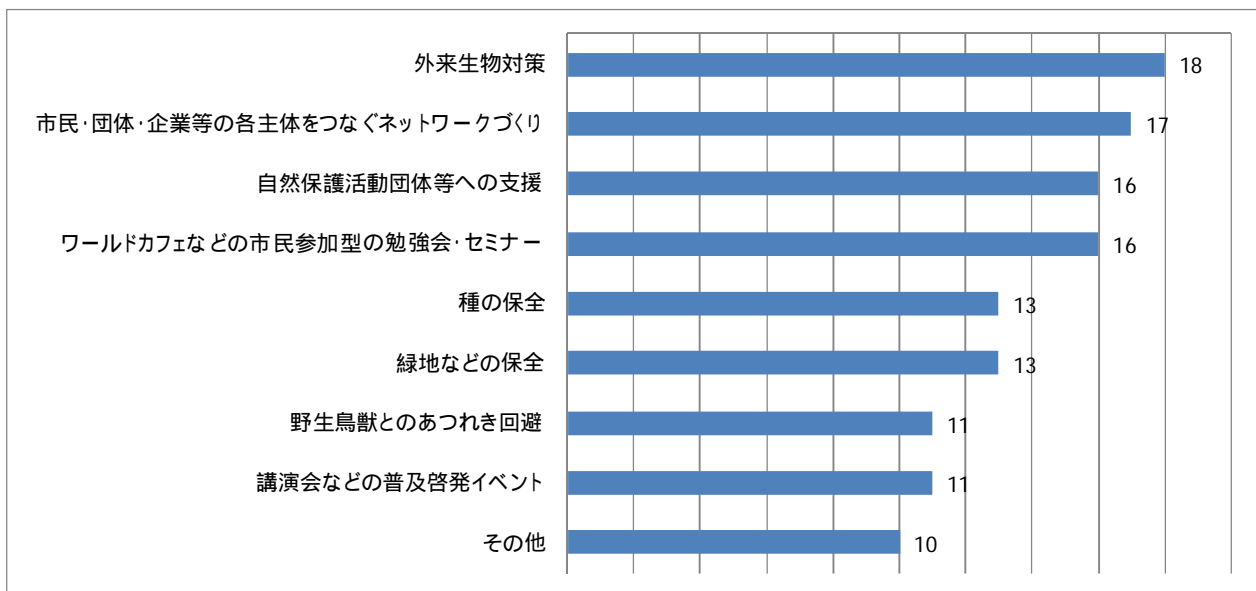
(環境教育・普及啓発に関するもの)

- ・「生物多様性」という言葉のハードルを下げる
- ・何でもよいが、多くの人に参画してもらえようようなイベントにした方がよい(例:カムバックサーモン)イベントによる啓蒙効果は大きい
- ・体験型の自然とふれあうイベント(昆虫採集や観察会など)
- ・野鳥観察会は毎年行っている
- ・子どもが自然とふれるきっかけづくりとして、プログラムを学校教育に取り入れるなど。まずは何とか予算をとってください!お願いします
- ・出前講義
- ・放流のガイドラインを市で取り組んでほしい。放流=よいことというイメージから、身近な自然に多くの生き物が移植放流されています
- ・ヒグマとの共生をテーマとした190万人の市民全体での取組、学習、生活スタイルの再考
- ・ある地方のように、生物多様性を盛り込んだ札幌市の歌を作って普及させる。歌詞の10番くらいまでに、札幌の自然(山・川・生き物など)、歴史(土地・人)を全部盛り込んで、この歌をうたえば札幌がわかるという「歌」がほしい
- ・札幌市が率先して生物多様性の歌を作り、札幌への郷土愛を啓蒙する

(その他)

- ・木育、セイヨウオオマルハナバチ対策
- ・トラスト運動
- ・長く活動を継続できる拠点をつくること
- ・生物多様性市民団体の協議会（事務局は札幌市に置く）
- ・円山 zoo と市立図書館を有効活用すべき
- ・こういった自然に対する考え方を「札幌まちづくり」につなげる（＝札幌市民はそっちの方が身近かも）
- ・都市緑化
- ・ゴミ処理場の樹林化、ヤナギ、ハンノキ類の植樹 野鳥などの助けで多様な樹種の森に育っていくことを夢想しています
- ・エゾアカガエルの生息地マップ作り（過去情報も収集） 自生植物による緑化技術の開発

問7. 今後、生物多様性保全のために、どのような事業が必要だと思いますか？（複数回答可）



「その他」の具体例

（環境教育・普及啓発に関するもの）

- ・環境教育（大人と子ども） 現状の環境に関する情報発信
- ・学校教育の中に組み込む
- ・学校教育、机上ではなく”触れる”を大事に
- ・教育を担っている方たちへの啓発！
- ・小学校への出張授業、ママカフェ

（ネットワーク構築に関するもの）

- ・市民・団体・企業に加えて教育をつなぐネットワークづくり
- ・市に限定されずに、道全体の生態系ネットワークの構築を進めることを求めます

（その他）

- ・未調査地での調査
- ・技術開発、経済活動との利害調整
- ・すべて

問8. 今日のワールドカフェで一番印象に残ったことはなんですか？(自由記載)

一番印象に残ったこと

(ワールドカフェの手法に関するもの)

- ・色々な考えを持っている人に色々な意見を聞くことができたこと
- ・こういうやり方自体はおもしろいですが、設問が難しかった(回答しづらい)
- ・いろいろな考えを知ることができた
- ・当方、リタイア組ですが、学校の先生、高校生、元学者さんなど異種な人たちと情報交換ができたことがよかった
- ・様々な考え方を持つ人との対話は、自分たちの活動の今後の参考になり、楽しく交流できた
- ・個人の主体的な取組に刺激された
- ・このテーマについてどれくらいの人があるのか、特にどれくらいというのが今回参加してみてなんとなく感じた。考え方については、まだ方向性とまでは固まっていないように思え、それは個人レベルでも市レベルでもそう感じた。人も多様だ。
- ・日曜の午前という時間は参加しやすくよかった
- ・ワールドカフェを理解していない方がいた
- ・意識の高い人々と議論ができて、刺激になった
- ・カフェの流れ(進め方)も勉強になりました! 「 ”対話” の場を設ける」「 ”対話” を増やす」これを常にキーワードに。浸透したら良いです
- ・自由に意見が述べられたこと
- ・確かにいろんな人の話が聴けました
- ・ややもすれば、感情論になりがちです

(当日得た知識や意見に関するもの)

- ・カラカネイトトンボがあいの里にいること
- ・アメリカザリガニについて考えよう
- ・一方で外来種駆除の問題が話し合われているのに、教育現場ではそれを知らず(?)アメリカザリガニを教材にして、子どもたちに家庭に持って帰らせるのは、どうか。飼えなくて、川にかえすと聞いた。
- ・札幌市の生物多様性の全体像や全体を俯瞰できる人、知見がないこと、また、それにも関わらず保全を進めようとしていること(見切り発車?)
- ・いまだに小学校でアメリカザリガニを配っていること
- ・生物多様性に対する想いの多様性を理解してほしいという意見に感銘を受けた

(行政の役割等に関するもの)

- ・行政の立場から、生物多様性の保全について、何ができるのかを模索していることがわかった。期待しています。
- ・行政と市民の協働が進むとよいと思いました

(その他)

- ・生物多様性という言葉は、とっつきづらい。もう少し身近な問題と感じられる言葉を使った方がよいのでは?
- ・単に昔に戻ることを目指すべきではない。今存在するものの中でどうバランスさせるかが大切。またやりたいです! ありがとうございます
- ・みんな自然が好きなのは間違いありません。「好き」は「知りたい」「守りたい」だと考えました
- ・教育について